

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 6. 13 - 第 22 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 6 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、6 月 1 日（木）10 時の時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した 5,362 組合中 4,586 組合が妥結済み（85.5%）。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は 2,616 組合・57.0% で、組合数・割合とも比較可能な 2013 闘争以降で最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した 4,475 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 10,807 円・3.66%（昨年同時期比 4,758 円増・1.57 ポイント増）、うち 300 人未満の中小組合 3,144 組合は 8,328 円・3.36%（同 3,471 円増・1.39 ポイント増）となった。5 月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な 2013 闘争以降で最も高く、依然「賃上げの流れ」はしっかり引き継がれている。
賃上げ分が明確に分かる 2,919 組合の「賃上げ分」は 6,029 円・2.14%、うち中小組合 1,808 組合は 5,050 円・1.98% となり、依然高い水準を保っている。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 52.78 円（同 29.03 円増）・月給 6,982 円（同 2,993 円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ 5.01%・3.24% と、比較可能な 2015 闘争以降で最も高く、時給は一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道は、6 月 1 日（木）10 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 200 組合中 163 組合が妥結した（81.5%）。そのうち、集計可能な回答を引き出した組合は 154 組合（昨年同時期比 7 組合増）、43,830 人（同 1,096 人増）であった。
- 月例賃金の加重平均は、8,890 円・3.38%（同 3,619 円・1.38 ポイント増）の引き上げとなり、同様の集計を始めた 2016 年闘争以降で最も高い数値となっている。
- 回答を引き出した 154 組合のうちベースアップ分が明確にわかる 114 組合のベースアップは、5,142 円・1.86%（同 3,702 円・1.31 ポイント増）となった。
- 一時金は、加重平均における 25 組合の年間金額は 1,411,541 円（同 85,780 円増）、年間月数は 41 組合で 4.37 ヶ月となった。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 44.34 円（同 19.92 円増）、月給 6,890.50 円（同 3,662.80 円増）の引き上げとなった。

【組合規模別賃上げ状況 2023 年 6 月 1 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	73	3,389 人	6,893 円(3.13%)	4,140 円(1.83%)	2,753 円(1.30%)
100～299 人	47	8,145 人	8,179 円(3.55%)	4,763 円(2.11%)	3,416 円(1.44%)
300 人未満計	120	11,534 人	7,790 円(3.42%)	4,610 円(2.05%)	3,180 円(1.37%)
300～999 人	28	14,146 人	10,018 円(3.69%)	4,406 円(1.76%)	5,612 円(1.93%)
1,000 人～	6	18,150 人	8,867 円(3.20%)	6,047 円(2.08%)	2,820 円(1.12%)
300 人以上計	34	32,296 人	9,271 円(3.36%)	5,508 円(1.98%)	3,763 円(1.38%)
計	154	43,830 人	8,890 円(3.38%)	5,271 円(2.00%)	3,619 円(1.38%)